



皆様、日々のお務めお疲れ様でございます。社内向け情報誌、今年の締め第20号です。

新しい年への準備も万端

毎年恒例の、門松の製作風景です。見られた方も多いのではないのでしょうか。手作りの門松には尚一層の特別感がありますよね。ありがたいです。



門松を飾る理由は、毎年お正月に「年神様」と呼ばれる神様が家々へ訪れると言われていることから、神様たちへの目印とおもてなしの合図だそうです。そしていかにも日本のお正月と感ずるのは、いわゆる民間信仰ですので、宗教のジャンルを問わず、神様みんなまとめておめでとつ！ということ。ゆるゆるな年始でいいですよ。笑

今月は 年末年始の SDGs



知っ得 雑学ワード



新年の事始めは、だいたい二日から。一年の計は元旦にあり、ということわざがあります。意味はご存知の通り、一年の計画は一月一日の朝に立てなさい、ということ。物事は最初が肝心、という話。

諸説ありますが、太元になった「四計(しけい)」という中国の教えがあります。一日の計画は朝に、一年の計画は元旦に立てること、一生は真面目に働くこと、一家の将来は健康に過ごすこと、これら四つで決まる、という意味です。その上で、火を使ったり刃物を使ったりするのは元日に使わないというのが、日本では昔から言われ伝わっています。書き初めも二日ですよ。要するに、事始めと言われる年明け最初の行動は、二日目からにしようとして立っています。計画は一日目に立てた上で、行動は二日目から。この無駄を出させない行動の考え方は、SDGs的な原点ですよ。

【交通安全ニュース】



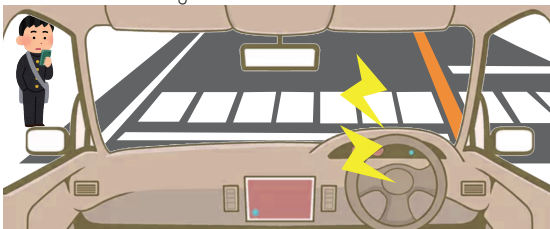
年末年始に激増する交通量、しかもちよつと急ぎ気味や焦り気味な運転者も多く、全体的に注意が散漫になってしまいがちです。そんなときに渋滞に巻き込まれてしまつと、車外だけでなく車内でも思わず交通違反な行動を取ってしまうかもしれません。

横断歩道では一時停止！

信号機のない横断歩道での一時停止は、今年の社報3月配布号で一度触れています。今回改めて、警察関係者に確認してみました。

クラクションを有効活用！

クラクションは積極的に使ってみましょう、というアドバイスでした。というのは、信号機のない横断歩道の前に誰か立っているとき、しかもスマホを見ていて渡る気配がなさそうなときでも、運転者は一時停止が義務付けられています。運転者は一度しっかりとプツッと軽くクラクションを鳴らして、歩行者に横断歩道を渡るか促します。そのとき歩行者が渡らないという意思表示をしたら、そのまま



徐行で進みましょう。これで違反にはならないそうです。

① 運転者はまず、しっかりと車を停止させる。

② 歩行者とコミュニケーションをしっかりと取る。

③ 歩行者が渡らないことが明確になったら、徐行で進む。

クラクションを多用するのはオススメではないのですが、こういうときこそそのクラクションです、とのこと。

ながらスマホ？
持つてるだけなの？

道路交通法が改正されて、走行中に携帯電話を手に持つて話すこと、画面を見て操作すること、それらが違反なのは広く知られています。

しかし！実は持つただけでもアウトなんです！

携帯電話使用等 (保持)



例えば、助手席にポンと置いた携帯電話が床に落ちそうだから、走行中にその携帯電話を手にとって画面も見ずに自分の胸ポケットにしまった、という行為でも、なんと違反となつてしまつのです。スマホが見えないとなんとなく落ち着かない、という人は、スマホホルダーを取り付けて必ずそこに置くようにして、走行中は触らない、など自分ルールを決めてみましょう。

今月号は年末なので早めの配布となりました。

今の段階では九州全域でおだやかな天気の年末年始になりそうですね。しかし部署によってはそんな年末年始も関係なく、年越しも年明けもトラックと一緒にの仲間も大勢いらつしやいます。改めて物流の尊さと、私たちの仕事の必要性と誇りを感じます。

業務中はもちろん、買い物や初詣などでの移動では、くれぐれも交通安全に気を付けて楽しい年末年始にしましょう！
来年も、皆さん全員、安全に頑張つて参りましょう！

これまで
「れまでも
「れからも
「りがとう
「みやこ専務の



皆さん、この一年いかがでしたか？ 山あり谷ありですよ。毎年、今年こそはと願いつつ、あつという間の一年が過ぎ、自分に勝つことの難しさを実感し、反省しきり。
来年こそは、みんなにとって本当に良い年でありませうようにと願っています。

【1月のお誕生日】

- 3 (火) ○○○○さん
- 12 (水) ○○○○さん
- 25 (火) ○○○○さん
- 25 (火) ○○○○さん

